

平成21年4月から 新しい中学校学習指導要領が先行実施されます

- 文部科学省では、平成20年3月に中学校学習指導要領の改訂を行いました。今回の改訂では、子どもたちに「生きる力」をはぐくむため、授業時数を増加するとともに、言語活動や理数教育、外国語教育、道徳教育などを充実しています。
- 新学習指導要領の全面的な実施は平成24年度からですが、平成21年度から数学、理科を中心に新しい内容を一部先行して学習します。

平成21年4月からの主な変更点

●授業時数が増加します

・数学(1年)、理科(3年)の授業時数が増加します

 → 授業時数増加

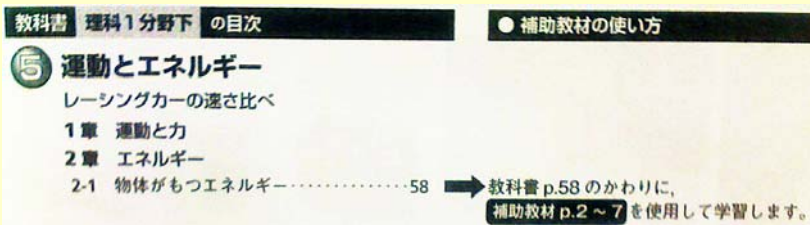
授業時数が 増加する教科	1年生		2年生		3年生	
	H20	H21	H20	H21	H20	H21
数学	3	4	3	3	3	3
理科	3	3	3	3	2.3	3

※数字は1週間当たりのコマ数 ※実際の授業時数や時間割は、この時数をもとにそれぞれの学校で決められています。

●数学(1年生)、理科(1・3年生)に新しい内容が加わります

新しい内容の例	1年生	2年生	3年生
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・球の表面積($S=4\pi r^2$)と体積($V=\frac{4}{3}\pi r^3$) ・代表値などを用いた資料の傾向の説明 	—	—
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・力とばねの伸び ・PEやPETなどのプラスチックの性質 ・シダ植物やコケ植物 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・水溶液とイオン ・遺伝の規則性と遺伝子 ・月の運動と見え方

・新しい内容を学習するため、1年生と3年生の生徒に教科書会社が作成した「補助教材」(冊子)が配布されます。(下は3年生理科の各教科書準拠の補助教材と目次例)



☆平成22年度からは、数学(3年生)、理科(2年生)についても、授業時数が増加し、新しい内容が加わります。
※さらに詳しい情報は「新しい学習指導要領」ホームページ(文部科学省トップページ>トピックス)をご覧ください。

「心を育む」ための提案

文部科学省では、「心を育む」取組として次のような提案を推進しています。

子どもたちに学習習慣・生活習慣を身に付けさせるため、各御家庭での取組をお願いします。

○「読み書きそろばん・外遊び」を推進する。

～「早寝早起き朝ごはん」と共に、生きる基礎を養う活動を積極的に行おう！～

○家庭で、生活の基本的ルールをつくる。

～家庭は全ての教育の出発点。携帯電話の使い方など、家庭で基本的なルールづくりを行おう！～